



## 平成30年9月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成30年8月3日

上場会社名 株式会社フィックスターズ 上場取引所 東  
 コード番号 3687 URL <https://www.fixstars.com/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 三木聡  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 堀美奈子 TEL 03-6420-0751  
 四半期報告書提出予定日 平成30年8月14日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有  
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成30年9月期第3四半期の連結業績（平成29年10月1日～平成30年6月30日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年9月期第3四半期	3,682	13.9	737	28.3	751	35.4	536	37.0
29年9月期第3四半期	3,233	4.7	574	△5.6	554	△8.9	391	△4.8

(注) 包括利益 30年9月期第3四半期 535百万円 (27.5%) 29年9月期第3四半期 419百万円 (5.3%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年9月期第3四半期	16.18	16.15
29年9月期第3四半期	11.68	11.65

(注) 当社は、平成30年4月1日付で普通株式1株につき5株の割合で株式分割を行っておりますが、平成29年9月期の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、1株当たり四半期純利益金額及び潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額を算定しております。

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
30年9月期第3四半期	3,357	2,687	78.7	79.57
29年9月期	2,817	2,274	80.6	68.45

(参考) 自己資本 30年9月期第3四半期 2,641百万円 29年9月期 2,269百万円

(注) 当社は、平成30年4月1日付で普通株式1株につき5株の割合で株式分割を行っておりますが、平成29年9月期の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、1株当たり純資産額を算定しております。

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年9月期	—	0.00	—	25.00	25.00
30年9月期	—	0.00	—	—	—
30年9月期(予想)	—	—	—	6.50	6.50

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

当社は、平成30年4月1日付で普通株式1株につき5株の割合で株式分割を行っております。平成29年9月期については当該株式分割前の実際の配当金額を記載しております。

### 3. 平成30年9月期の連結業績予想（平成29年10月1日～平成30年9月30日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	5,000	12.3	1,000	19.7	1,000	23.0	720	29.1	21.72

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

新規 一社（社名）－、除外 一社（社名）－

なお、特定子会社の異動には該当していませんが、株式会社Fixstars Autonomous Technologies及び株式会社Fixstars Cloud Solutionsを第2四半期連結会計期間において新たに設立したため、連結の範囲に含めておりません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	30年9月期3Q	33,575,000株	29年9月期	33,560,000株
② 期末自己株式数	30年9月期3Q	382,710株	29年9月期	400,000株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	30年9月期3Q	33,174,453株	29年9月期3Q	33,560,000株

(注) 当社は、平成30年4月1日付で普通株式1株につき5株の割合で株式分割を行っておりますが、平成29年9月期の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、「期末発行済株式数」、「期末自己株式数」及び「期中平均株式数」を算定しております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、本資料の発表時点において当社が入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については添付資料P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

（決算補足説明資料の入手方法について）

決算補足説明資料は、TDnetで同日開示し、当社ウェブサイトに掲載しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(会計方針の変更)	7
(セグメント情報等)	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における我が国経済は、雇用・所得環境の改善が続くなか、緩やかな回復基調で推移いたしました。また、海外経済につきましても、中国をはじめとする新興国経済の先行きやアメリカの今後の政策等に関する不確実性の影響、通商問題の動向については留意する必要があるものの、引き続き緩やかに回復いたしました。

このような経営環境下、当社のソフトウェア開発技術を活用し未来社会の構築に貢献すべく「Speed up your Business」をスローガンに掲げ、お客様の高速処理のパートナー企業として、従来からのマルチコア向けソフトウェア開発サービスに加えて、ストレージ関連ソフトウェア開発サービスの2つを当社の事業の柱として、併せて関連するミドルウェア及びハードウェアの販売を展開しております。

主力のソフトウェア・サービス事業では、マルチコア向けソフトウェア開発サービスにおいて、自動運転関連を対象としたアルゴリズム開発や高速化案件、医療機器やFA機器向けの組込みソフトウェア案件及び金融分野やディープラーニングを対象とした高速化案件等を中心に継続的に受注しております。また、ストレージ関連ソフトウェア開発サービスにおいては、半導体メーカー向けソフトウェア開発案件が継続しております。

当社グループが開発したソフトウェア等が稼働するハードウェア基盤を開発、提供するハードウェア基盤事業では、画像処理プロセッサ搭載演算ボード等の量産納入を中心に、引き続き安定して受注しております。

海外事業では、米国子会社のFixstars Solutions, Inc.が日本のお客様の米国業務の一翼を担う一方、研究機関等を対象とした高速化案件の拡大に取り組んでおります。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間における売上高は、3,682,506千円（前年同期比13.9%増）、営業利益737,431千円（前年同期比28.3%増）、経常利益751,023千円（前年同期比35.4%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益536,799千円（前年同期比37.0%増）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。なお、以下の数値はセグメント間の取引消去後となっております。

#### (ソフトウェア・サービス)

ヘルスケア、産業機器及び車載分野では、高精細・高解像度画像のリアルタイム処理等を実現するソリューションを提供しております。モバイル分野では、半導体メーカー向けのファームウェア開発を中心にサービスを提供しております。金融及びHPC分野では、リスク管理やスーパーコンピュータの性能評価等、シミュレーションの高速処理のためのソリューションを中心にサービスを提供しております。また、量子コンピューティング事業においては、各種アニーリングマシンの活用を進め、量子コンピュータの導入支援の拡大に努めております。

この結果、売上高は、2,853,727千円（前年同期比24.9%増）、セグメント利益（営業利益）は、693,566千円（前年同期比44.5%増）となりました。

#### (ハードウェア基盤)

画像処理プロセッサ搭載の演算ボード等の量産納入が長期継続中であり、加えて、ソフトウェア・サービスと組み合わせたトータルソリューション型案件に注力いたしました。大容量高速ストレージ・サーバにおいては、カスタマイズ品の製品開発案件を進める一方で、事業戦略の変更に伴い棚卸資産の簿価切り下げを実施いたしました。

この結果、売上高は、828,779千円（前年同期比12.7%減）、セグメント利益（営業利益）は、43,865千円（前年同期比53.7%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産・負債及び純資産の状況

(総資産)

当第3四半期連結会計期間末における資産合計は、前連結会計年度末に比べて540,183千円増加し、3,357,393千円となりました。これは、現金及び預金が222,518千円、売掛金が204,424千円、商品及び製品が108,287千円増加した一方で、電子記録債権が94,003千円減少したこと等が主な要因であります。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における負債合計は、前連結会計年度末に比べて127,378千円増加し、669,834千円となりました。これは、買掛金が189,787千円増加した一方で、未払法人税等が80,399千円減少したこと等が主な要因であります。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は、前連結会計年度末に比べて412,805千円増加し、2,687,558千円となりました。これは、利益剰余金が359,622千円増加したことが主な要因であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成30年9月期の業績予想につきましては、平成30年5月10日付の「第2四半期業績予想値と実績値の差異並びに通期業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ」で公表しました通期の業績予想から変更ありません。

なお、業績予想は現時点において入手可能な情報に基づき作成しており、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (平成30年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,342,135	1,564,654
売掛金	870,231	1,074,656
電子記録債権	282,830	188,827
商品及び製品	56,813	165,100
仕掛品	5,609	10,211
繰延税金資産	62,562	44,511
その他	17,448	20,239
流動資産合計	2,637,630	3,068,200
固定資産		
有形固定資産	31,386	75,229
無形固定資産		
その他	19,448	17,995
無形固定資産合計	19,448	17,995
投資その他の資産		
投資有価証券	34,469	35,217
繰延税金資産	3,570	5,408
その他	90,704	155,341
投資その他の資産合計	128,743	195,967
固定資産合計	179,578	289,192
資産合計	2,817,209	3,357,393
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	142,417	332,205
未払法人税等	164,441	84,042
賞与引当金	56,348	29,413
事業整理損失引当金	28,887	—
その他	150,360	224,173
流動負債合計	542,455	669,834
負債合計	542,455	669,834
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	549,968	550,868
資本剰余金	455,968	456,868
利益剰余金	1,556,891	1,916,514
自己株式	△300,000	△287,056
株主資本合計	2,262,828	2,637,194
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	17,613	18,132
為替換算調整勘定	△10,786	△14,161
その他の包括利益累計額合計	6,827	3,971
新株予約権	385	385
非支配株主持分	4,713	46,008
純資産合計	2,274,753	2,687,558
負債純資産合計	2,817,209	3,357,393

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年10月1日 至平成29年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年10月1日 至平成30年6月30日)
売上高	3,233,861	3,682,506
売上原価	2,069,526	2,202,533
売上総利益	1,164,334	1,479,973
販売費及び一般管理費	589,431	742,541
営業利益	574,903	737,431
営業外収益		
受取配当金	2,238	1,009
受取保険金	1,089	—
物品売却益	—	13,207
その他	257	1,147
営業外収益合計	3,585	15,363
営業外費用		
支払利息	1,631	1,651
上場関連費用	19,674	—
為替差損	2,344	73
その他	355	47
営業外費用合計	24,005	1,771
経常利益	554,483	751,023
特別利益		
新株予約権戻入益	35	—
特別利益合計	35	—
特別損失		
関係会社清算損	2,543	—
特別損失合計	2,543	—
税金等調整前四半期純利益	551,974	751,023
法人税、住民税及び事業税	147,208	196,920
法人税等調整額	12,644	15,967
法人税等合計	159,853	212,887
四半期純利益	392,121	538,136
非支配株主に帰属する四半期純利益	252	1,337
親会社株主に帰属する四半期純利益	391,868	536,799

(四半期連結包括利益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成28年10月1日 至 平成29年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成29年10月1日 至 平成30年6月30日)
四半期純利益	392,121	538,136
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	13,898	519
為替換算調整勘定	13,922	△3,375
その他の包括利益合計	27,821	△2,856
四半期包括利益	419,942	535,279
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	419,690	533,942
非支配株主に係る四半期包括利益	252	1,337



## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(従業員等に対して権利確定条件付き有償新株予約権を付与する取引に関する取扱い等の適用)

「従業員等に対して権利確定条件付き有償新株予約権を付与する取引に関する取扱い」(実務対応報告第36号平成30年1月12日。以下「実務対応報告第36号」という。)等を平成30年4月1日以後適用し、従業員等に対して権利確定条件付き有償新株予約権を付与する取引については、「ストック・オプション等に関する会計基準」(企業会計基準第8号平成17年12月27日)等に準拠した会計処理を行うことといたしました。

ただし、実務対応報告第36号の適用については、実務対応報告第36号第10項(3)に定める経過的な取扱いに従っており、実務対応報告第36号の適用日より前に従業員等に対して権利確定条件付き有償新株予約権を付与した取引については、従来採用していた会計処理を継続しております。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

## I 前第3四半期連結累計期間(自平成28年10月1日至平成29年6月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント		合計
	ソフトウェア ・サービス	ハードウェア 基盤	
売上高			
外部顧客への売上高	2,284,481	949,380	3,233,861
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—
計	2,284,481	949,380	3,233,861
セグメント利益	480,069	94,833	574,903

(注) セグメント利益の合計は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

## II 当第3四半期連結累計期間(自平成29年10月1日至平成30年6月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント		合計
	ソフトウェア ・サービス	ハードウェア 基盤	
売上高			
外部顧客への売上高	2,853,727	828,779	3,682,506
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—
計	2,853,727	828,779	3,682,506
セグメント利益	693,566	43,865	737,431

(注) セグメント利益の合計は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。